２０２４年度園評価（保護者・職員）に対する園の自己評価

２０２５年４月
学校法人高岸幼稚園
園長　相原典之

（保護者による園評価結果）

保護者の皆さまには、日頃より園の活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝しております。また、お忙しい中、園評価にご協力いただき、ありがとうございました。

今回も全体的に好意的で高い評価をしていただき、ありがたく思っておりますが、同時に今後とも保護者の皆さまのご期待に応えられるよう職員一同一層努力していきたいと、身が引き締まる思いをしております。

保護者の方の自由意見の中に、お子さんが「とても楽しく安心して過ごしている」、「幼稚園が大好きで行きたくないと言ったことは一度もありません」、「思い切り楽しんでくれてうれしく思っています」等の記載があり、職員一同大変嬉しく思っております。また、入園時から一年経ったお子さんの変化を喜んで記してくださっている方々もおられ、お子さんの成長を保護者の方と分かち合い、共に喜び合うことができる幸いをあらためて実感しております。

一方で、「お子さまは、自ら進んで挨拶をしている」という項目については、他の項目に比べ評価が高くありませんでした。挨拶のことは継続的な課題です。お子さんの年齢による差もあるかと思いますが、その子なりに明るく元気な挨拶ができるよう、促し方の工夫を重ねていきたいと思います。ただ、園見学や子育てサロンに小さなお友だちが来てくれたときに、当園の子どもたちは、よく声をかけてくれ、遊んでくれます。自園の子どもながら、「みんな、本当に優しいな」と感心しながら見ています。

また、「職員間での連絡がきちんとできている」の項目に対しては、「とても良い」との回答が他の項目に比べて少ないことが気になります。職員間での連絡、情報共有は非常に大切ですので、保護者の皆さまにもっと安心していただけるよう改善していきたいと思います。

（職員による園評価結果）

職員による自己評価では、各項目で「よくできた」と「だいたいできた」が均衡しているようです。自己評価ですので、保護者の皆さまからの評価よりも厳しくなるのは当然とも思います。しかし、ただ謙虚な思いで「だいたいできた」と記すのではなく、どこを改善すれば自分なりに「よくできた」と評価し得るのかという視点から、項目ごとに検討していくことが必要であると思います。

気になったのは、「職員間がなんでも相談しやすい雰囲気であるように自ら努力した」、「職員間で必要な報告、相談ができるように自ら努力した」の項目に対し、「よくできた」との回答が昨年に比べても多くなっていないということです。職員間の連絡やコミュニケーションは、園の安全と信頼のために非常に大切なことですので、改

善して　いきたいと思います。

（今後の課題）

・小さな園ですが、職員の勤務時間や役割はだんだん細分化してきています。そうした中で、園の創立の理念であるキリスト教保育の考え方を共有し、連絡事項の共有が行き届くよう努めていきたいと思います。職員同士が相談しやすい雰囲気も、今まで以上に作っていきたいと思います。

・キリスト教保育連盟の研修、県や市の連合会の研修、校区の連絡会等に積極的に参加し、保育の学びや園の環境整備･安全整備の学び、また小学校への接続の学びをし、園内研修でフィードバックしていきたいと思います。